

岩手大学釜石サテライト

岩手大学三陸水産研究センター

岩手大学三陸復興・地域創生推進機構

・三陸復興部門

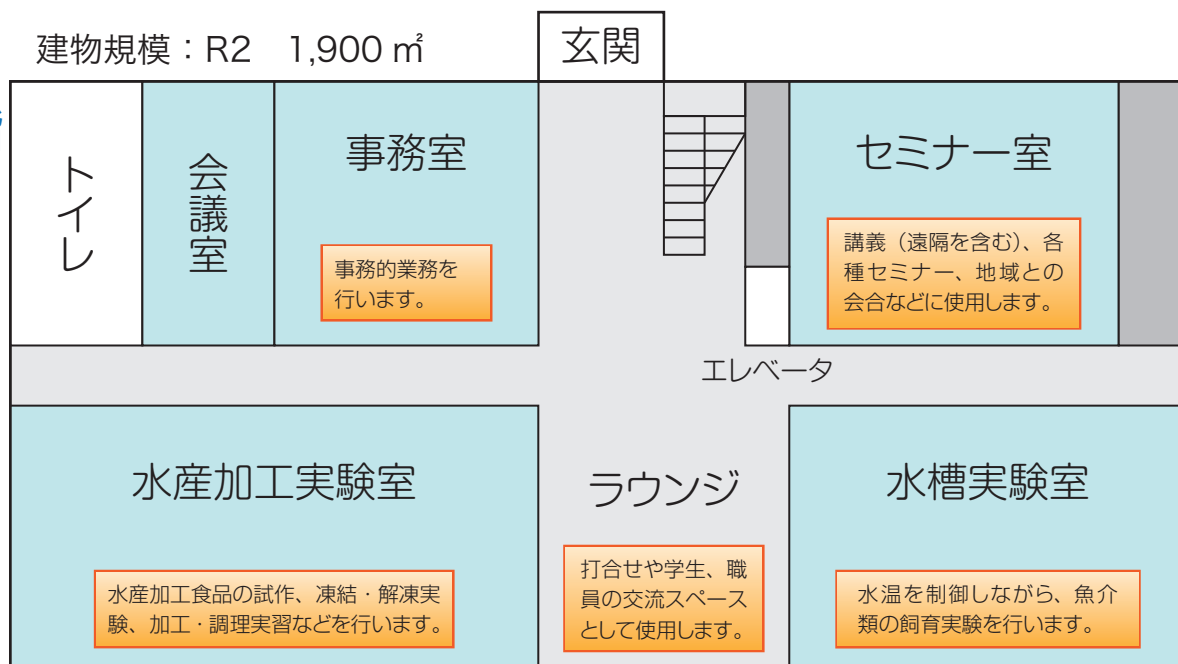


国立大学法人 岩手大学

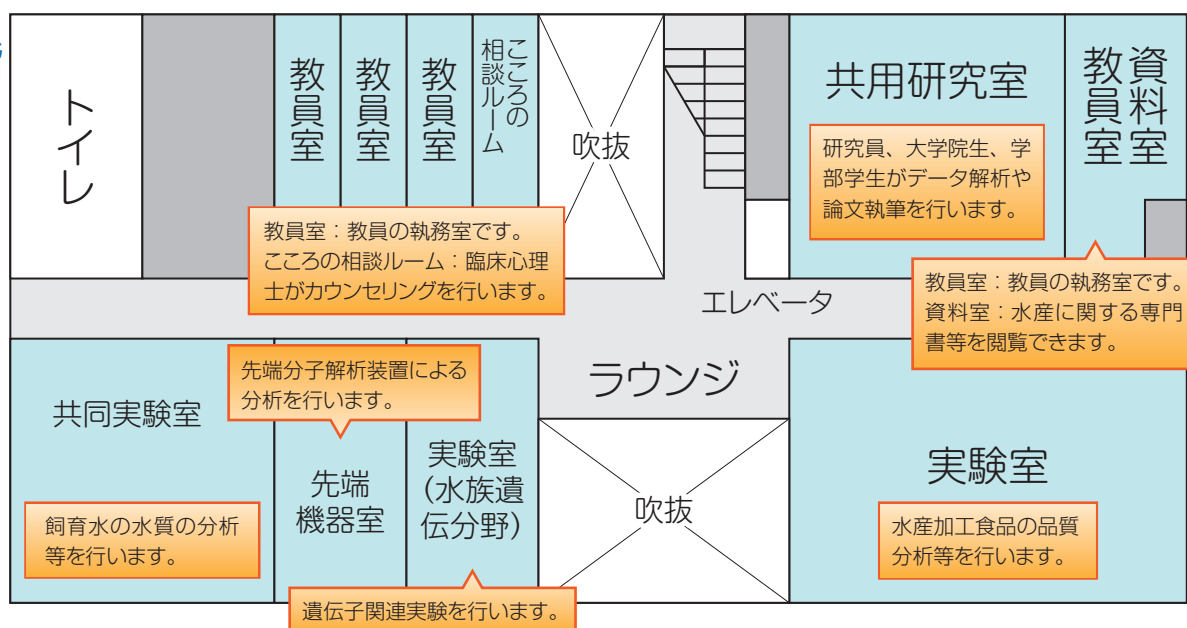
釜石サテライト案内図

建物規模：R2 1,900 m²

1階



2階



釜石サテライトのスタッフ

平成28年10月1日現在

三陸復興支援課

事務職員 2名
産学官連携専門職員 1名
事務補佐員 1名

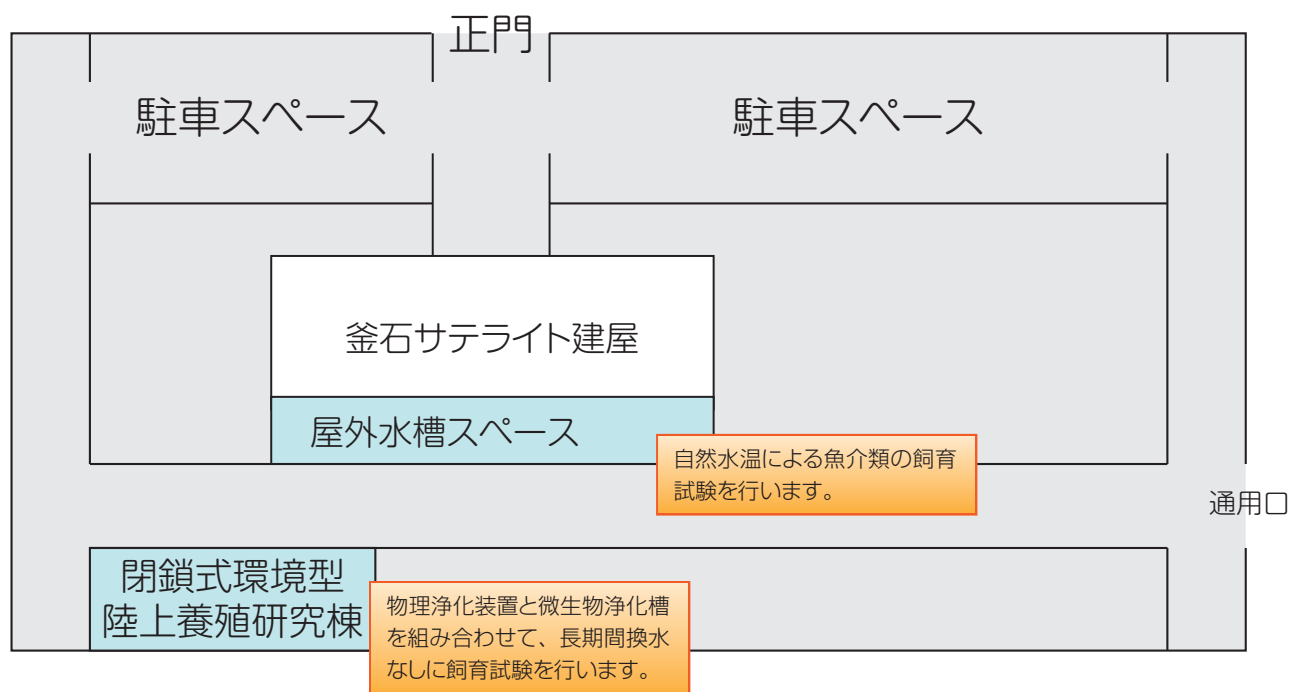
三陸水産研究センター

釜石常駐兼務教員 4名
釜石常駐特任研究員 2名
釜石常駐特任専門職員 1名
技術補佐員 1名

三陸復興・地域創生推進機構

《三陸復興部門》
心のケア班 臨床心理士 特任准教授 1名
(釜石・大槌地域産業育成センター勤務)
《三陸復興部門》
ものづくり産業復興推進班・特任研究員 3名

釜石サテライト全体配置図



～奇跡のトチノキ物語～ 【Aesculus turbinata】

この木が植えられたと考えられるのは、1988年。この地に株式会社海洋バイオテクノロジー研究所が建設され、そのグリーント張りの中庭の中心にただ1本オブジェ的に植樹され、大切に管理されてきました。約20年後の2008年4月からは北里大学にその運営母体が変更されましたが、変わらぬ姿で多くの学生・職員を癒してきたのです。

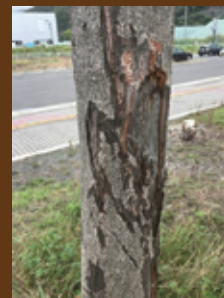
この木の岐路は2011年3月に発生した東日本大震災。大津波は当施設を一瞬にして海の藻屑と変えてしまいましたが、奇跡的にこの木だけは建屋が堤防替わりとなってその被害を免れたのです。

多くの方々に愛されたこのトチノキは、現在でも岩手大学釜石サテライトの玄関前で静かに来客者・職員・学生を見守り続けています。



旧(株)海洋バイオテクノロジー
研究所中庭に立つトチノキ

津波の生々しい爪痕が残る幹
現在はシカの角研ぎ用としても大活躍



三陸水産研究センター

(三陸復興・地域創生推進機構 三陸水産教育研究部門)

【設置目的】

従来の水産業に科学的根拠に基づく付加価値を加え、水産業の高度化、三陸水産品のブランド化を目指すとともに、水産関連技術者の高度化教育や人材育成を行い、三陸地域の活性化を推進することにより、三陸沿岸の復興に寄与する。

三陸水産研究センター運営委員会

センター長(兼務)

副センター長

増殖部門

これまでの漁業を高度化

養殖部門

新たな水産養殖

加工・マーケティング分野

新たな水産製品・流通

生産、加工、流通を総合的に理解し、地域水産業に貢献できる
専門的人材（水産プロモーター）の育成

人材育成

高大連携
学部・大学院教育
社会人教育…

県内外の教育研究
機関との連携

国・県・沿岸自治体
等との連携

地域連携

地域連携

三陸水産
研究センター

研究開発

増養殖技術
加工技術
環境保全…

地域連携

産業育成

マーケティング
6次産業化支援…

水産海洋分野に係る実用化研究拠点の形成

増殖分野

目標：三陸海域を主なフィールドとして漁業資源の持続的利用と地域水産業の発展に貢献して参ります。

主要テーマ：

- ①三陸周辺海域における漁業資源の資源生態学的研究を行い、持続的な利用に必要な生物学的な特性を明らかにします。
- ②三陸海域で漁獲されるさけ・ますの特徴を遺伝的・生態学的な観点から明らかにし、さけ・ます類の資源増殖の基礎となる研究を行います。
- ③三陸海域で営まれている養殖業や漁船漁業を対象として、海洋環境、資源、漁業生産をシステムとして把握し、海域のもつ特性を明らかにして地域水産業の更なる理解と将来を担う水産プロモーターの育成に貢献します。

養殖分野

目標：三陸における既存の水産業と並立しうる新規業態として「陸上養殖」に着目し、基礎ならびに実用化に向けた研究を行います。新たな収入源の創出による所得安定化とともに沿岸域における雇用創出（新たな水産業従事者の創出）の基盤形成を目指します。

主要テーマ：

- ①三陸沿岸域に適合しうる陸上養殖システムの開発
サケ・マス類を中核魚種として海面漁業生産を補えるような市場競争力を持った陸上養殖技術の研究を行います。そのため積極的に異分野の研究者、技術者との交流を図ります。
- ②三陸沿岸域に適合しうる新規養殖対象種の開拓
新たな養殖対象候補種の探索を行い、生物学的特性についての基礎研究から養殖技術確立を目指します。
- ③養殖研究を通じた人材育成
養殖研究を通して岩手大学の学部生、大学院生に生産現場での問題提起・解決能力に資する幅広い知識、技能を習得させ、「売れる魚づくり」を意識できる養殖技術者、研究者を育てます。

加工・マーケティング分野

目標：水産物の付加価値向上のための水産食品加工の科学的考察による高度化、能率化と新たな発想による新製品の開発、バリューチェーンの最適化によるマーケティング戦略の構築、人工知能（AI）等活用による水産業の情報産業化等を目指します。

主要テーマ：

- ①水産物における高付加価値・機能食品の開発（高齢者給食向け食品、ハラル認証可能食品等、健康食品）を目指します。
- ②新製品開発し、市場開拓（魚麺等）を行います。
- ③特定の三陸漁業者（水産加工業にも従事）を対象としたワークフロー・バリューチェーン最適化実証実験を行い、汎用性ある水産業6次産業化モデルの開発を目指します。
- ④三陸ブランド確立と販売促進会社による新たな販路開発を図ります。
- ⑤減圧下乾燥技術の確立による新食材開発を目指します。

研究スタッフの紹介（釜石常駐スタッフ）



氏 名 : 田中 教幸
職 位 : 農学部教授（センター長、加工・マーケティング分野リーダー）
担当分野 : 加工・マーケティング分野
専門分野 : 海洋学、水産学、地球化学、持続性学
主要研究テーマ :

水産業の高度化に資する6次産業化を異業種連携を通して実現する方法を模索しています。また、海水の化学の専門家として増養殖施設の水質保全に関わる研究にも従事する予定もあります。新しい水産研究センターの岩手大学らしい今後の研究と人材育成、インパクトのある社会貢献の方向を学内外の協力で探って行きたいと考えています。

氏 名 : 平井 俊朗
職 位 : 農学部教授（副センター長、養殖分野リーダー）
担当分野 : 増殖分野、養殖分野
専門分野 : 水産増殖学、生殖生物学、内分泌学、分子生物学
主要研究テーマ :

水生生物の繁殖について、「生体内で起こっていること」を個体（形態学）、構成成分（生化学）、遺伝子（分子生物学）といった複数の視点から理解し、増養殖技術の革新へと結びつけたいと考えています。また、副センター長として異分野との連携を図りたいと考えています。



氏 名 : 後藤 友明
職 位 : 農学部准教授（増殖分野リーダー）
担当分野 : 増殖分野
専門分野 : 漁業資源生態学、資源管理学、分類学
主要研究テーマ :

生態学的、資源学的なアプローチから三陸沿岸に生息する漁業資源の特性を知り、それを利用する漁業について分析することによって持続的な漁業に貢献して参りたいと考えています。

研究スタッフの紹介（釜石常駐スタッフ）

氏 名 : 塚越 英晴
職 位 : 農学部助教
担当分野 : 増殖分野、養殖分野
専門分野 : 水族遺伝学、水産増殖学、分子生態学
主要研究テーマ :

サケ類を中心とした水産魚介類を研究対象に、遺伝学や分子生態学的な視点から増養殖に関わる生物特性の把握を行っています。



氏 名 : 佐藤 琢哉
職 位 : 特任研究員
担当分野 : 養殖分野
専門分野 : 水圏生化学
主要研究テーマ :

生体内の構成タンパク質の解析や消化酵素の性状を調べることによって、養殖技術の発展に寄与したいと考えてます。

氏 名 : 北村志乃
職 位 : 特任研究員
担当分野 : 増殖分野
専門分野 : 分子系統学、集団遺伝学
主要研究テーマ :

三陸岩手を中心とした魚類の DNA を解析し、どこからきたのか等の系統を調べたり、集団を解析して遺伝的多様性の評価などを行っています。



研究スタッフの紹介（釜石常駐スタッフ）

氏 名 : 田村直司
職 位 : 産学官連携専門職員
担当分野 : 増殖分野、養殖分野、加工・マーケティング分野

県職員時代の経験と知識を活かして、被災地の水産業の復興や地域創成に繋がります。新しい水産業へ移行することが真の復興であり、担い手育成にも繋がることから、既存の水産業の良いところは残しつつ、県職員時代にはできなかった新たな水産イノベーションの取り組みにチャレンジしていきたいと思います。漁業者と研究者と繋げることが私の仕事ですので、現場の課題解決を目指して行きます。



氏 名 : 澤井雅幸
職 位 : 特任専門職員（リサーチ・アドミニストレーター）
担当分野 : 増殖分野、養殖分野
担当業務 :

三陸水産研究センターが地域に根差した研究機関として三陸地域の水産業の復興と発展に貢献していくために地域産業と研究者双方を支援しています。大学と人、機関、企業、自治体との協力体制の構築や共同研究の支援を通じ、水産業の現場の課題に対して大学の研究者がどう貢献できるかを考え、研究成果を地域へ還元するお手伝いをしていきます。

研究スタッフの紹介（釜石常駐スタッフ）

氏 名 : 梶原昌五
職 位 : 准教授（副センター長、養殖分野、増殖分野サポートメンバー）
担当分野 : 増殖分野、養殖分野
専門分野 : 水産増養殖学、感覚生理学
主要研究テーマ :

マボヤの光受容機能と光応答行動に関連してマボヤの神経系の再構築を免疫組織学的手法を用いて行なっていますが、その成果として、震災後はマボヤの種苗生産に理論を応用し、研究とともに実地指導を行なっています。また、副センター長として学生の学習環境を整えるために各方面に働きかけていきたいと考えています。



研究スタッフの紹介（盛岡常駐スタッフ）



氏 名 : 石村 学志
職 位 : 准教授
担当分野 : 増殖分野 加工マーケティング分野
専門分野 : 資源経済学、資源政策学、数理資源管理学
主要な研究テーマ :
漁獲行動分析、市場分析、政策分析、教育

氏 名 : 袁 春紅
職 位 : 准教授
担当分野 : 加工・マーケティング分野
専門分野 : 水産食品加工学
主要研究テーマ :

三陸ブランド水産物を高品質、適正な価格で消費者にお届けするため、
魚介類の鮮度維持、高品質化の技術研究を行っています。



氏 名 : 森川 卓哉
職 位 : 特任研究員
担当分野 : 加工・マーケティング分野
専門分野 : 食品加工学, 生物資源科学
主要研究テーマ :

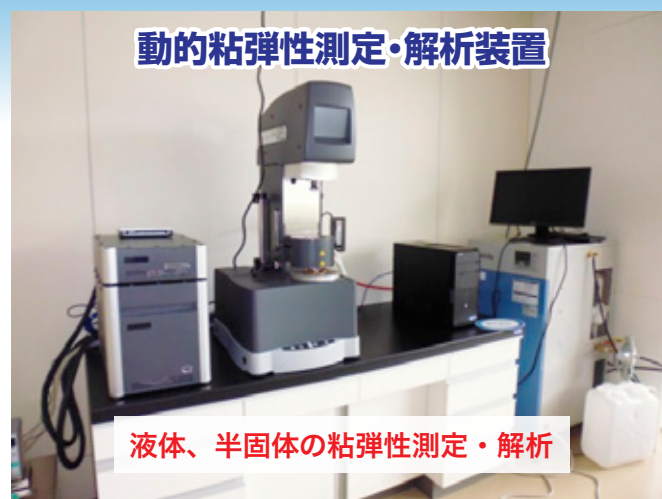
水産物をはじめとする食品を高品質に乾燥する装置の開発, 従来品と比べて塩味はそのまま減塩した水産加工品の開発, 嚥下困難者対応食品の開発といった, 新しい水産加工技術に関する研究を行っています。

三陸水産研究センターの主な研究設備

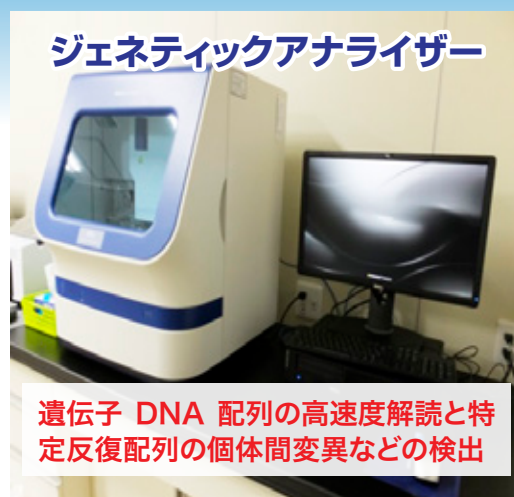
1 階 水産加工実験室



2 階 実験室



2 階 先端機器室



三陸復興部門 ものづくり産業復興推進班

釜石ものづくりサテライト

釜石市と（公財）釜石・大槌地域産業育成センターとの連携により、各種加工機器を配置し、スタッフを常駐させたサテライトを設置。

目 的

岩手大学は、公益財団法人 釜石・大槌地域産業育成センター等と連携して三陸沿岸地域における「ものづくり産業の復興・創生」を推進しています。

また、これまで釜石地域において推進してきたコバルト系合金の研究開発成果を生かし、同地域が特徴ある製造・加工の拠点となるように支援しています。

サテライトの活動

サテライトには、3 D-CAD/CAM システムを始め、5軸マシニングセンタ、ワイヤー放電加工機、成形研削盤、3次元測定器などの機材を常設。近隣企業の皆さんが、試作開発・技術研修などの用途にお使いいただけます。

常駐する3名のスタッフ（常勤2名、非常勤1名）が、さまざまな技術相談や、操作指導等に対応致します。



5 軸マシニングセンタ



ワイヤー放電加工機



成形研削盤



3 次元測定器



連 絡 先

〒026-0001 釜石市平田第3地割 75-1
公益財団法人

釜石・大槌地域産業育成センター内

電 話 (0193) 55-5582

FAX (0193) 55-5583

三陸復興部門

心のケア班

釜石サテライト・心の相談ルームにてカウンセリングを実施

ケア班の活動【被災者と支援者の長期的な心のサポート】

- ① 現地スタッフ（臨床心理士）による被災地の心のケアの計画立案・実施・調整
- ② 釜石サテライト心の相談ルームの運営
- ③ 市民講座（定例版・拡大版）の開催
- ④ 仮設住宅への訪問支援
- ⑤ 三陸沿岸高校へのスクールカウンセリング支援
- ⑥ 心のケアに関わる心理学的基礎研究の遂行
- ⑦ 支援者に対するメンタルケア・プログラムの実施
- ⑧ 長期支援を目指す臨床心理士の育成

臨床心理士のスタッフが震災の有無に関係なくご相談に応じております。
トラウマへの対応として EMDR、話すのが苦手な方へは箱庭療法も実施しております。

◆釜石サテライトこころの相談ルーム受付

岩手大学人文社会科学部「こころの相談センター」

電話(直通)：(019) 621-6848(盛岡、釜石共通受付)

受付時間：平日10時30分～12時30分(祝祭日、お盆、年末年始を除く)

開設日：水曜日 10時～16時(応相談)

料 金：無料



こころの相談ルーム

アクセス



▶車の場合

釜石駅前から約15分

▶バスの場合

岩手県交通「上平田」バス停から徒歩約15分

▶鉄道の場合

JR釜石線「釜石駅」で下車し、三陸鉄道「釜石駅」より「平田駅」で下車し、徒歩約25分

〒026-0001 釜石市平田第三地割75-1

電話 (0193) 55-5691(代表)

FAX (0193) 36-1610

E-mail kamaishi@iwate-u.ac.jp

Web <http://www.iwate-u.ac.jp/reconstruct/kamaishi/>

Blog <http://sanriku.adm.iwate-u.ac.jp/blog/>

《三陸水産研究センター》

Web <http://sfrc.iwate-u.ac.jp/>